

就労継続支援 B 型事業所「スマイル」の情報と地域の状況

事業所所在地 の環境及び地域の 地場産業	・人口は約8万人、人口の約30％は65歳以上の高齢者であり、人口の6％にあたる約4千6百人が障害者手帳を保持している。 ・県庁までは自動車で約1時間、近隣の都市圏までは電車で2時間30分程度、首都圏までは3時間30分程度かかる。 ・産業は、産業別人口約4万3千人のうち第1次産業（農業、林業、漁業）が約3％、第2次産業（鉱業、建設業、製造業）が約42％、第3次産業が約55％（小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療・福祉業、金融業、情報通信業等）であり、第2次産業が県内市町と比較しても多い地域である。 ・隣接する市町も含め、漆器・和紙・刃物・筆筥・焼物・眼鏡・繊維と 7 つの地場産業が集積している。また、上記の伝統産業以外にも、電子部品などの先端技術産業に至るまで幅広い産業が集積し、製造品出荷額が県内第一位の産業都市となっている。繊維業については、停滞しているものの、電子技術産業は緩やかな伸びを続けている。第3次産業については、多くの業態で堅調の状況ではある。どの業態においても人手不足は顕著であり、それに比例するかのように外国人労働者が増加傾向となっている。 ・公共交通機関は地元の鉄道、行政バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。	
地域の社会資源 の状況	障害福祉サービス事業は、就労継続支援 A 型・B 型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。また地域に就労選択支援を提供する事業所はない。相談窓口として、委託相談支援事業所が2ヶ所、特定相談事業所12ヶ所があり、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターは近隣の市にある。	
事業所の概要	就労継続支援 B 型事業 定員20名 現在の利用者は、身体・知的・精神など多様な障害種別の人が利用している。 グループホームからは自転車で15分の距離である。	
職員構成	管理者 1名(60代女性) サービス管理責任者 1名(40代男性【川瀬】) 職業指導員 3名(40代女性、60代男性、20代女性) 生活支援員 2名(30代女性【三口】、30代男性)	
日 課	＊平日 9:30～16:00 ＊土日祝日は休所	
主な作業内容	作業内容	工賃の状況
	カフェ(接客、皿洗い、調理補助等)	時間 150円 ～ 200円
	軽作業(部品の選別、計量、梱包作業)	時間 100円 ～ 150円
	施設外就労 (近所の運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業)	時間 300円 ～ 350円